



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 中広  
 コード番号 2139 URL <http://www.chuco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 後藤 一俊  
 (氏名) 中島 永次

TEL 058-247-2511

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,276	5.2	174	△4.6	175	△5.1	111	△2.5
27年3月期第2四半期	3,114	5.8	182	15.9	185	18.1	114	29.8

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 115百万円 (△1.6%) 27年3月期第2四半期 117百万円 (32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	16.35	—
27年3月期第2四半期	17.47	17.02

(注)平成28年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年3月期第2四半期	3,218		1,401		43.6	
27年3月期	2,990		1,340		44.8	

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 1,401百万円 27年3月期 1,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)27年3月期期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	6.2	550	13.4	540	14.7	330	9.0	48.53

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	7,044,000 株	27年3月期	7,044,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	243,938 株	27年3月期	243,864 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,800,092 株	27年3月期2Q	6,525,994 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)のわが国経済は、政府による経済政策や、日本銀行による金融緩和を背景に、企業収益や雇用情勢の改善など、緩やかな回復基調にあるものの、円安による物価上昇や消費税引き上げ等による消費者マインドの低迷が続いており、また不安定な海外経済の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような状況下、当社グループでは、主力のフリーマガジンの発行エリア拡大を図るとともに、特徴である「一軒一軒確実に手配り」「ご当地の情報・話題を満載」「全世代が安心して読める」「多様なクーポン・サービスの反響」の4点にこだわり、発行エリアの世帯カバー率が高い広告媒体である強みを生かした提案営業により、業容の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,276,513千円(前年同期比5.2%増)、売上総利益は1,498,061千円(前年同期比8.2%増)となりました。

利益面では、事業拡大計画に沿って大幅に人員を採用したことに加え、群馬県及び福井県での事業譲り受けによる人員増大により、販管費及び一般管理費が1,323,958千円(前年同期比10.2%増)となりました。この結果、営業利益は174,103千円(前年同期比4.6%減)、経常利益は175,785千円(前年同期比5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は111,187千円(前年同期比2.5%減)となりました。

#### a. メディア事業

メディア事業は、フリーマガジンでは主に、平成26年3月に全16区を発行エリアとした愛知県名古屋市の定着が進んだ愛知事業部で、広告受注が順調に推移いたしました。また当第2四半期連結累計期間に、群馬県前橋市・伊勢崎市・高崎市・渋川市及び佐波郡玉村町で「地域みっちゃく生活情報誌(R)『前橋パリッシュ南東版』、『前橋パリッシュ北西版』、『伊勢崎パリッシュ』、『高崎パリッシュ』、『渋川パリッシュ』及び『玉村パリッシュ』」に関する事業を、福井県あわら・坂井両市で「地域みっちゃく生活情報誌(R)『ちゅんちゅん』」に関する事業を譲り受け、当該エリアを当社発行とし、業容の拡大を図ってまいりました。さらに全国展開として、引き続きVC(※)契約を推進し、新潟県上越市、香川県丸亀市・宇多津町、京都府京田辺市、埼玉県熊谷市への展開のため新たに4社が加わり、全国で1道2府14県、25社となりました。

イベントセミナー部門では「講演会インフォ」の全国展開を進め、新たに茨城県にて1社とVC契約を締結しました。また、通信販売部門は順調に推移いたしました。

これらの結果、メディア事業の売上高は1,985,738千円(前年同期比9.8%増)となりました。

なお、平成27年9月末現在、直営フリーマガジンは53誌、発行部数318万部となり、VCによる発行を合わせますと90誌、総発行部数526万部となりました。

また、フリーマガジンとWebとのメディアミックスによるモバイル販促ツールとして展開する、地域みっちゃく生活情報総合ポータルサイト「フリモ(R)」(furimo.jp)の会員数は118,904名、掲載店舗数は23,728件となりました。

さらに、平成26年10月よりスタートしたスマートフォン向けAR(拡張現実)サービス「フリモAR(R)」におけるアプリダウンロード件数は21,086件となり、新たなIT商品として積極的に展開しております。

#### b. 広告SP事業

広告SP事業では、フリーマガジンとの連携を深めるため、各支社(岐阜支社、名古屋支社、東京支社、三重支社及び関西支社)において、フリーマガジンを主体とした提案型営業に特化した結果、東京及び名古屋支社は順調に受注を伸ばしました。岐阜支社では昨年実績の大ロスポンサーからの受注が低下した影響により、前年実績を下回りました。

この結果、広告SP事業の売上高は1,290,775千円(前年同期比1.1%減)となりました。

(※) VCとは

Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)契約

(注) 発行部数、会員数、掲載店舗数、ダウンロード件数は平成27年9月末現在

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて227,743千円増加し、3,218,229千円となりました。これは主に建物及び構築物が4,859千円減少したものの、受取手形及び売掛金が98,839千円、現金及び預金が41,488千円及び無形固定資産が27,916千円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて166,221千円増加し、1,816,461千円となりました。これは主に長期借入金が59,166千円及び流動負債のその他が58,727千円減少したものの、短期借入金が210,000千円、未払金が30,666千円及び賞与引当金が26,835千円増加したこと等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べて61,521千円増加し、1,401,768千円となりました。これは主に利益剰余金が56,786千円、その他有価証券評価差額金が4,783千円増加したことによるものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は43.6%であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成27年4月30日発表の「平成28年3月期の連結業績予想」に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	817,532	859,021
受取手形及び売掛金	790,848	889,688
商品	6,231	6,696
仕掛品	10,221	13,792
貯蔵品	729	729
繰延税金資産	27,954	37,927
その他	78,668	102,372
貸倒引当金	△7,103	△5,128
流動資産合計	1,725,081	1,905,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	247,639	242,779
土地	695,382	695,382
その他(純額)	67,585	68,337
有形固定資産合計	1,010,607	1,006,499
無形固定資産		
無形固定資産	36,244	64,160
投資その他の資産		
投資有価証券	64,854	70,732
差入保証金	157,860	172,272
その他	45,863	49,817
貸倒引当金	△50,025	△50,352
投資その他の資産合計	218,553	242,470
固定資産合計	1,265,404	1,313,130
資産合計	2,990,486	3,218,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	533,939	555,262
短期借入金	280,000	490,000
1年内返済予定の長期借入金	118,332	118,332
未払金	32,966	63,633
未払費用	60,874	73,288
未払法人税等	97,972	81,611
預り金	26,713	30,266
賞与引当金	53,133	79,969
その他	145,277	86,550
流動負債合計	1,349,209	1,578,914
固定負債		
長期借入金	238,513	179,347
リース債務	50,478	44,981
その他	12,038	13,218
固定負債合計	301,030	237,547
負債合計	1,650,239	1,816,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	404,300	404,300
資本剰余金	94,800	94,800
利益剰余金	845,352	902,138
自己株式	△15,753	△15,802
株主資本合計	1,328,698	1,385,436
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,548	16,331
その他の包括利益累計額合計	11,548	16,331
純資産合計	1,340,246	1,401,768
負債純資産合計	2,990,486	3,218,229

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,114,432	3,276,513
売上原価	1,730,498	1,778,451
売上総利益	1,383,934	1,498,061
販売費及び一般管理費	1,201,399	1,323,958
営業利益	182,534	174,103
営業外収益		
受取利息	488	534
受取配当金	523	577
受取賃貸料	6,419	5,836
その他	2,817	1,777
営業外収益合計	10,248	8,726
営業外費用		
支払利息	3,336	2,268
支払手数料	1,460	856
車両事故損失	2,775	3,918
営業外費用合計	7,573	7,043
経常利益	185,210	175,785
特別利益		
投資有価証券売却益	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
投資有価証券評価損	1	-
投資有価証券売却損	13	-
特別損失合計	15	-
税金等調整前四半期純利益	185,195	175,786
法人税、住民税及び事業税	77,695	74,902
法人税等調整額	△6,532	△10,303
法人税等合計	71,163	64,598
四半期純利益	114,032	111,187
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,032	111,187

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	114,032	111,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,861	4,783
その他の包括利益合計	3,861	4,783
四半期包括利益	117,893	115,970
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,893	115,970
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	185,195	175,786
減価償却費	21,716	21,757
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△595	△1,647
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,250	26,835
受取利息及び受取配当金	△1,012	△1,112
支払利息	3,336	2,268
売上債権の増減額(△は増加)	△41,752	△101,286
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,022	△4,036
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,271	17,355
破産更生債権等の増減額(△は増加)	153	△327
その他	19,866	△45,217
小計	176,909	90,376
利息及び配当金の受取額	952	1,086
利息の支払額	△3,292	△2,324
法人税等の支払額	△118,845	△93,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,723	△4,124
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△134,500	△230,053
定期預金の払戻による収入	122,400	145,300
有形固定資産の取得による支出	△5,786	△5,292
無形固定資産の取得による支出	△545	△24,297
差入保証金の差入による支出	△6,557	△4,867
差入保証金の回収による収入	895	395
投資有価証券の取得による支出	△119	△122
その他	△9	△2,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,222	△121,675
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,000	210,000
長期借入金の返済による支出	△59,166	△59,166
リース債務の返済による支出	△13,952	△14,414
配当金の支払額	△38,848	△53,835
株式の発行による収入	8,700	-
自己株式の取得による支出	-	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,266	82,534
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,765	△43,264
現金及び現金同等物の期首残高	214,629	213,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	152,863	170,370

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	広告SP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,809,044	1,305,388	3,114,432	—	3,114,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,809,044	1,305,388	3,114,432	—	3,114,432
セグメント利益	246,445	182,695	429,141	△246,606	182,534

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディア事業	広告SP事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,985,738	1,290,775	3,276,513	—	3,276,513
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,985,738	1,290,775	3,276,513	—	3,276,513
セグメント利益	263,001	165,299	428,300	△254,197	174,103

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。